

W I L C O M M

ウィルコム C S V コンバージョンツール 機能説明

CSV002 (Last Update : 2002/5/7)

ウィルコム V7.15

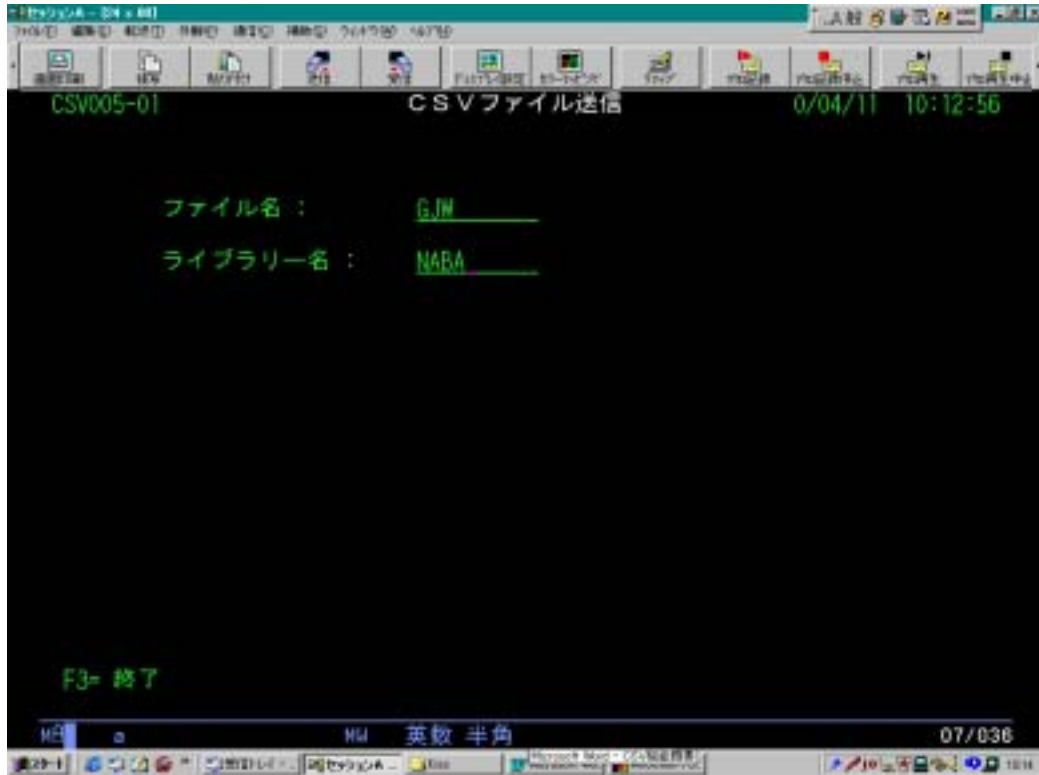
© Copyright 2000
K.I.S.S. Inc.



ウィルコム C S V コンバージョンツール機能説明

A S 4 0 0 上で作成された物理ファイルを C S V (Comma Separated Value) 形式に変換し、指定されたアドレスに添付ファイルとして送信するツールです。受信側は、添付ファイルをクリックするだけでエクセルを起動させることができます。

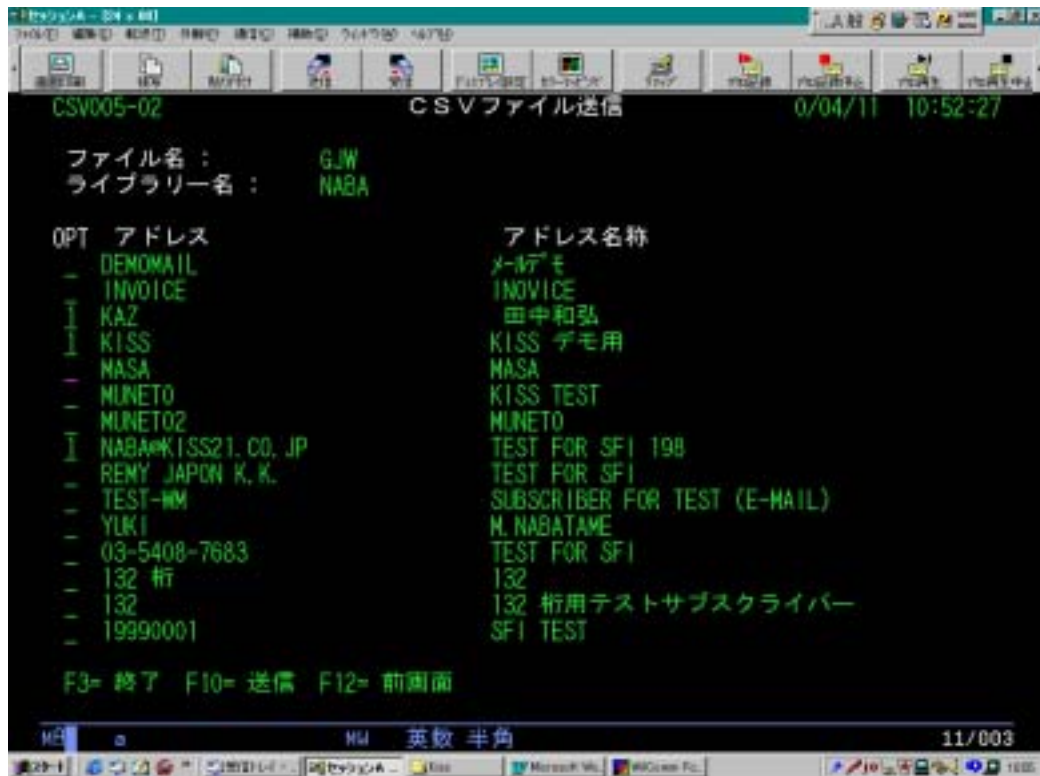
1 . ファイル選択画面



コマンドラインから、GO Wを実行してWilCommのメインメニューを表示させます。
コマンドラインから、SND C S V Fと入力し、実行キーを押します。C S Vに変換したいファイル名を入力し実行キーを押します。(ここで指定されたファイルが3メガ以上の場合にはエラーとなります。上限サイズはデータエリアによって変更可)

コマンドへパラメーターを渡すことにより、バッチプログラムへの組み込みも可能です。

2. 送信先の選択画面

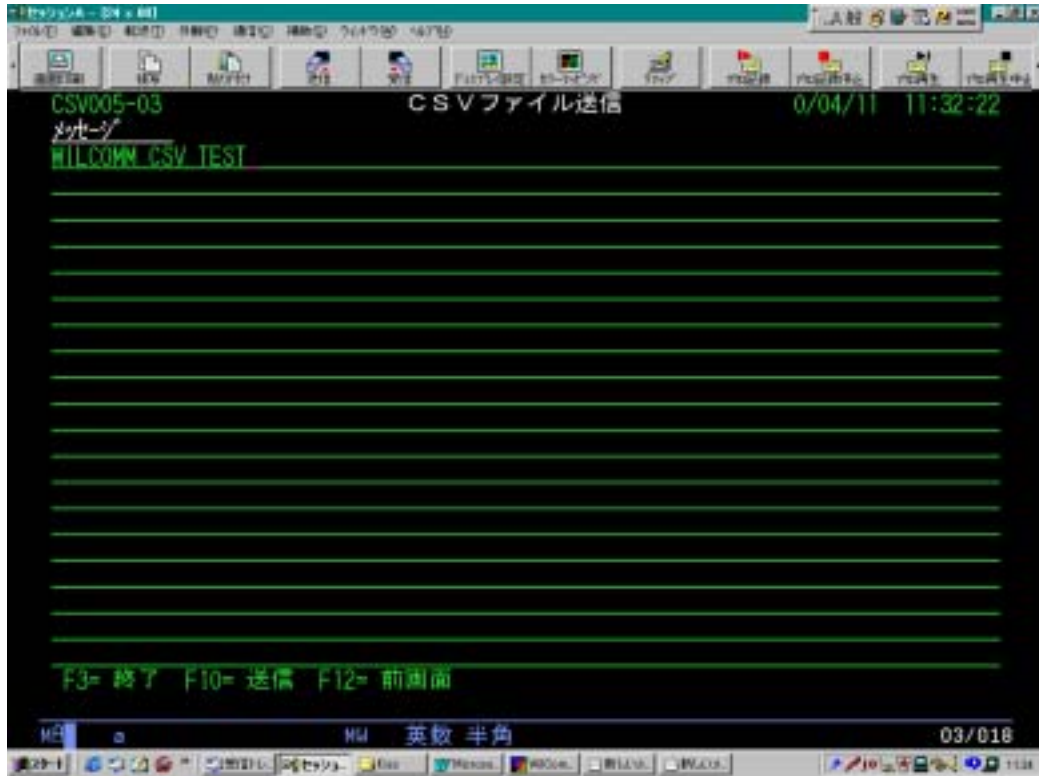


送信先を画面より選択し（複数指定可） F 1 0 = 送信を押します。

送信先は、あらかじめ WilComm のサブスクライバーに登録が必要です。

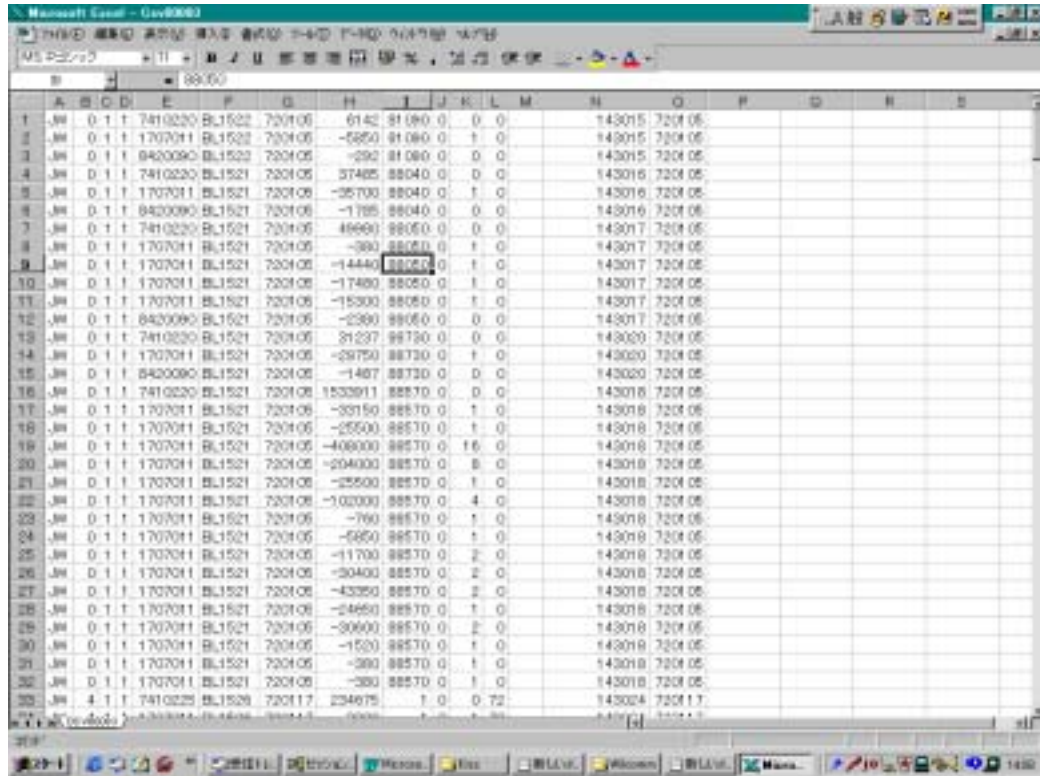
WilComm メインメニューのオプション “ 4 ” ディレクトリーメンテナンスで
サブスクライバーの登録を行なって下さい。

3. メッセージ入力画面



メール本文に貼り付けるメッセージを入力します。(メール本文にはここで入力したメッセージとD S P F F Dの内容が貼り付けられます。) F 1 0 =送信を押します。

5. エクセルにてデータ確認



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
1	JM	0	1	1	7410220	BL1522	720105	6142	81080	0	0	0		143015	720105				
2	JM	0	1	1	1707011	BL1522	720105	-5850	81080	0	1	0		143015	720105				
3	JM	0	1	1	8420090	BL1522	720105	-292	81080	0	0	0		143015	720105				
4	JM	0	1	1	7410220	BL1521	720105	37485	88040	0	0	0		143016	720105				
5	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-35700	88040	0	1	0		143016	720105				
6	JM	0	1	1	8420090	BL1521	720105	-1785	88040	0	0	0		143016	720105				
7	JM	0	1	1	7410220	BL1521	720105	48660	88050	0	0	0		143017	720105				
8	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-380	88050	0	1	0		143017	720105				
9	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-14440	88050	0	1	0		143017	720105				
10	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-17480	88050	0	1	0		143017	720105				
11	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-15300	88050	0	1	0		143017	720105				
12	JM	0	1	1	8420090	BL1521	720105	-2380	88050	0	0	0		143017	720105				
13	JM	0	1	1	7410220	BL1521	720105	31237	88730	0	0	0		143020	720105				
14	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-28750	88730	0	1	0		143020	720105				
15	JM	0	1	1	8420090	BL1521	720105	-1487	88730	0	0	0		143020	720105				
16	JM	0	1	1	7410220	BL1521	720105	1533811	88570	0	0	0		143018	720105				
17	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-30150	88570	0	1	0		143018	720105				
18	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-25500	88570	0	1	0		143018	720105				
19	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-408000	88570	0	16	0		143018	720105				
20	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-204000	88570	0	8	0		143018	720105				
21	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-25500	88570	0	1	0		143018	720105				
22	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-102000	88570	0	4	0		143018	720105				
23	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-760	88570	0	1	0		143018	720105				
24	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-5850	88570	0	1	0		143018	720105				
25	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-11700	88570	0	2	0		143018	720105				
26	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-30400	88570	0	2	0		143018	720105				
27	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-43350	88570	0	2	0		143018	720105				
28	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-24650	88570	0	1	0		143018	720105				
29	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-30600	88570	0	2	0		143018	720105				
30	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-1520	88570	0	1	0		143018	720105				
31	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-380	88570	0	1	0		143018	720105				
32	JM	0	1	1	1707011	BL1521	720105	-380	88570	0	1	0		143018	720105				
33	JM	4	1	1	7410220	BL1528	720117	234675	1	0	0	72		143024	720117				

添付ファイルをダブルクリックするとエクセルが起動します。

PC側の設定

CSVコンバージョンツールを稼働させるには、PC側に対応するディストリビューションウィザードを設定する必要があります。CSVコンバージョンツールを経由してきたデータの場合、スペシフィックコードWMが使用されます。ディストリビューションウィザードの属性条件設定の画面にてスペシフィックコードWMを指定し、サービスはメールを選択します。

バッチ処理でCSV送信を行なう方法（１）

プログラム WILPLEXCSV/CSV002C を CALL するプログラムを作成します。

メールメッセージを添付する場合は、WILPLEXCSV/W#MSG にメンバーを作成し、メッセージを入力します。

CSV002C へ受け渡すパラメータは、以下の通りです。

- 1．物理ファイル名（10 桁）
 - 2．ライブラリー名（10 桁）
 - 3．サブスクライバー名（30 桁）
 - 4．W#MSG のメンバー名（10 桁）
 - 5．プレフィックス（3 桁） CSVファイル名の先頭3文字
 - 6．拡張子（3 桁） CSVファイルの拡張子
- メッセージを添付しない場合は、'DEFAULT'を指定して下さい。

実行する環境では、ライブラリーリストに、WILPLEX、WILPLEXD が必要です。

バッチ処理でCSV送信を行なう方法（２）

WilComm の Ver.7.15 以降をご使用の場合、新規に以下のコマンドを使用することが可能です。

Ver.7.11 以前のバージョンをご使用の場合には使用できません

バッチのみではなく、オンラインから実行する事が可能です。

実行する環境では、ライブラリーリストに、WILPLEX、WILPLEXD が必要です。

[拡張機能]

- 1．CSV ファイルの 1 行目に、フィールドテキストを挿入可能です。
- 2．メール本文に記載していたフィールド一覧を除去可能です。
- 3．メール送信の際使用する件名を自由に指定可能です。(MAX:25 桁)
- 4．メールアドレスを直接指定可能です。
(サブスクライバーの事前登録が不要となります。)
- 5．添付する CSV ファイル名として任意の名前を使用可能です。
任意の名前を使用した場合、再送信の結果が保証されなくなる等いくつかの制限事項があります。
- 6．ファイルのメンバーを指定可能です。

拡張機能を利用するためには、SNDCSV コマンドを使用します。

SNDCSV のパラメータは以下の通りです。

ファイル名	: 10A (必須)
ライブラリー名	: 10A (必須)
メンバー名	: 10A (デフォルト値: *FIRST)
サブスクライバー	: 30A (メールアドレスが指定されていれば不要)
メールアドレス	: 75A (サブスクライバーが指定されていれば不要)
件名	: 25 (日本語入力可)
メッセージ	: 10A (メール本文: ソースファイル W#MSG のメンバー名)
プレフィックス	: 3A (添付ファイル名の頭 3 桁: 省略可能)
ファイル拡張子	: 3A (任意の 3 文字、ブランク指定可能)
添付ファイル名	: 8A (添付する CSV ファイルの名前: 省略可能)
フィールド名挿入	: 4A (CSV 1 行目にフィールドテキストを挿入するか否か)
フィールド一覧	: 4A (メール本文にフィールド一覧を記入するか否か)

通常プレフィックスが添付ファイル名のいずれかを指定します。両方のパラメータを指定した場合、プレフィックスが採用され、添付ファイル名は無効となります。

プレフィックスに"AAA"を指定した場合、CSV ファイルの名前は、AAA00001.CSV のように、プレフィックス + 連番 + 拡張子となります。

添付ファイル名を指定した場合には、任意の名前を CSV ファイルに付ける事が可能ですが、WilComm のメッセージリストからの再送信について結果を保証することはできなくなります。ファイル拡張子は、プレフィックス、添付ファイル名いずれを指定した場合にも有効で、拡張子を付けたくない場合には、ブランクを指定することも可能です。

留意点

送信者のユーザープロファイルが A S 4 0 0 上のディレクトリーに登録されていることが前提となります。(W R K D I R E コマンドで確認 / 登録を行って下さい。)

WilComm AS/400 のメニューから 60.アプリケーション・コントロール・メニューを実行
アプリケーション・コントロール・メニューの 12.ユーザー・プロファイル・メンテナンスで
登録されているユーザーのみ CSV オプションを使用することができます。